

2017年度事業報告

自 2017年4月 1日

至 2018年3月31日

公益財団法人 日揮・実吉奨学会

事業

1. 概況

- ・ 2017 年度は主な収入である保有株式の配当金が減額となり、奨学、研究助成の両事業ともに大幅に縮小した計画となりましたが、ほぼその計画通りの事業を遂行できました。また、新たに海外へ留学する日本人大学院生向けの奨学金事業を開始し3名に給付することとしました。

- ・ 財団の収支計算書に関しては、次の通り概ね予算通りとなりました。

(収入)

当期収入は4億 5,003 万円となり、予算を 2,796 万円上回りました。主な理由は、貸与奨学金返還収入が 1 億 1,747 万円(1,747 万円増)、事務所移転に伴う敷金・保証金の戻り 1,049 万円が計上されたことによります。

(支出)

当期支出は 4 億 8,426 万円となり、予算を 495 万円上回りました。主な理由は、事業活動支出が 405 万円、予備支出 100 万円の合計 505 万円支出が下回ったものの、研究助成基金積立資産に 1,000 万円多く計上したことによるものです。

(収支差額)

以上の結果、当期収支差額は▲3,423 万円(赤字)となり、前期繰越収支差額 2 億 9,835 万円との合計 2 億 6,412 万円が次期繰越収支差額となりました。

- ・ また、公益事業比率実績は 83%となり公益目的事業費率の基準「50%以上」を達成しています。また奨学事業収支は▲368 万円、研究助成事業は▲3,321 万円となり公益事業の収支がそれぞれ赤字となっており、収支相償の原則も満たしています。なお、次期繰越収支差額 2 億 6,412 万円は公益事業費用 2 億 6,698 万円を 286 万円下回る結果となっております。

2. 日本人学生向け奨学事業

2. 1 給与奨学金(447名、1億3,395万円)

当会指定73大学の大学院生・大学生を合わせ447名(計画では450名で3名辞退があった)に対して、従来通り一人当たり30万円/年で、合計1億3,395万円(予算は1億3,500万円、105万円減)を給付しました。

2. 2 海外留学奨学金(3名)

指定5大学の日本人大大学院生を対象として5名の海外留学生を募集しました。研究を目的とした留学を原則とし、期間は4カ月以上1年未満で、奨学金(月額15万円)と渡航費(一律20万円)を給付します。実際には留学時期が2018年4月以降となるため、2017年度には費用(405万円)は発生していません。

2. 3 貸与奨学金

2011年度から新規募集を停止し2016年度をもって貸与奨学生はなくなりました。2017年度は、早期に一括返還した者が予想より多く、1億1,747万円(貸与残高5億1,630万円)の返還金がありました。

3. 海外からの留学生向け奨学事業

3. 1 第二種給与奨学金(100名、2,500万円)

当会指定69大学の海外からの私費留学生100名に対して、従来通り一人当たり25万円/年で、2,500万円を給付しました。

3. 2 第三種給与奨学金(9名、1,620万円)

中近東、アフリカ、中央アジア圏、東南アジアおよびメコン地域の産油・産ガス国からの私費留学生(大学院生に限定)に対する奨学事業であり、当会指定31大学から9名に対して、従来通り一人当たり月額15万円(年間180万円)で、総額1,620万円を給付しました。

4. 奨学生ならびに大学担当部門との面談・交流

4. 1 指定大学訪問

2017年10~12月にかけて地方所在の46大学、首都圏所在の27大学、合計73大学を訪問し、日本人奨学生、返還猶予者、第二種、第三種の奨学生(海外から

の私費留学生)との面談および大学担当部門との意見交換を行いました。

4. 2 海外からの私費留学生との懇談交流

2017年7月に第三種給与奨学生に対する資格授与式を行い、また2018年1月に首都圏所在大学の第二種給与奨学生との懇談交流会を実施しました。

5. 研究助成事業(37名、7,400万円)

研究助成は、指定73大学(2グループに分け奇数年は37大学、偶数年は36大学)を対象とし募集しています。

2017年度は37大学より募集し、若手教員からの研究計画を選考委員会で審査の上で、37名に対し一人200万円で合計7,400万円の助成を行いました。

2017年9月5日に選考委員、理事出席のもと、研究助成金贈呈式を行いました。また、2016年に助成した研究テーマに関する研究報告集(Vol.35号)を纏め、関係者に配布しました。

公益財団法人 日揮・実吉奨学会 奨学金および研究助成金の指定大学一覧(2017年度)

大学 コード	大学名	日本人向け		留学生向け		研究助成金		大学 コード	大学名	日本人向け		留学生向け		研究助成金		大学 コード	大学名	日本人向け		留学生向け		研究助成金	
		給与 (人数)	第二種 (人数)	第三種	奇数年	偶数年	給与 (人数)			第二種 (人数)	第三種	奇数年	偶数年	給与 (人数)	第二種 (人数)			第三種	奇数年	偶数年	給与 (人数)	第二種 (人数)	第三種
01	北海道	10	2	○		○		25	福井	4	1			○		51	大阪府立	6	1	○			○
02	東北	10	3	○	○			26	静岡	8	2			○		52	埼玉	5	2				○
03	東京	12	3	○	○			27	山梨	3	1			○		53	富山	4	1			○	
04	京都	12	3	○		○		28	名古屋工業	6	2	○		○		54	琉球	4	1	○	○		
05	大阪	12	2	○		○		29	山口	5	1	○	○			55	茨城	5	1	○			○
06	九州	11	3	○		○		30	九州工業	6	2			○		56	東京農工	6	2	○	○		
07	東京工業	10	3	○	○			31	室蘭工業	4	1	○		○		57	岐阜	5	1			○	
08	横浜国立	7	2	○		○		32	首都東京	6	1	○		○		58	愛媛	5	1			○	
09	岩手	4	1			○		33	大阪市立	3	1			○		59	北見工業	2	1	○	○		
10	千葉	8	2	○		○		34	早稲田	12	3	○		○		60	宇都宮	3	1			○	
11	新潟	5	1	○	○			35	慶應義塾	10	1	○		○		62	佐賀	4	1				○
12	金沢	5	1	○		○		36	芝浦工業	10	1			○		63	大分	2	1				○
13	名古屋	10	3	○	○			37	東京電機	10	1			○		64	兵庫県立	4	1				○
14	神戸	8	1	○	○			38	日本	11	2			○		65	豊橋技術科学	2	1				○
15	岡山	6	1	○	○			39	中央	5	1			○		66	長岡技術科学	3	1				○
16	広島	6	2	○		○		40	学習院	3	-			○		67	筑波	8	3	○			○
17	徳島	5	1	○	○			41	東京理科	12	2	○	○			68	工学院	8	1				○
18	長崎	3	1			○		42	千葉工業	10	1			○		69	東海	11	2	○			○
19	熊本	5	1			○		43	成蹊	2	-			○		70	電気通信	5	2				○
20	宮崎	4	1			○		45	鹿児島	6	1	○	○			71	立命館	10	2				○
21	鳥取	5	1			○		47	東京都市	5	1			○		72	日本女子	1	-				○
22	秋田	2	1			○		48	上智	2	1			○		73	東京海洋	3	1			○	
23	山形	6	1			○		49	関東学院	3	1			○		74	明治	10	1			○	
24	群馬	4	1			○		50	信州	8	1			○		75	同志社	6	1			○	
																76	お茶の水女子	1	-				○

* 日本人向け奨学金	給与 447名/73大学
* 海外からの留学生向け奨学金	第二種 100名/69大学 第三種 9名/31大学
* 研究助成金	37名/26大学

(大学コード 欠番 : No.44 No.46 No.61)

2017年度研究助成金受給者一覧表

受給No.	大学名	所属	職名	氏名	助成金額	受給No.	大学名	所属	職名	氏名	助成金額		
1701	東北	多元物質科学研究所	助教	山本 俊介	200 万円	1720	山口	創成科学研究科	准教授	鈴木 祐麻	200 万円		
1702	東北	理学研究科	助教	田邊 洋一	200 "	1721	九州工業	工学研究院	准教授	城崎 由紀	200 "		
1703	東京	工学系研究科	准教授	江島 広貴	200 "	1722	大阪市立	理学研究科	助教	保野 陽子	200 "		
1704	東京	情報理工学系研究科	助教	高橋 英俊	200 "	1723	大阪市立	工学研究科	講師	尾島 由紘	200 "		
1705	東京工業	工学院	助教	渡部 弘達	200 "	1724	日本	理工学部	助教	渡邊 満洋	200 "		
1706	東京工業	物質理工学院	講師	三宮 工	200 "	1725	東京理科	理学部第一部	講師	武藤 雄一郎	200 "		
1707	名古屋	物質科学国際研究センター	助教	中 寛 史	200 "	1726	東京理科	理工学部	助教	荻原 陽平	200 "		
1708	神戸	農学研究科	助教	石川 亮	200 "	1727	関東学院	理工学部	准教授	宮永 宜典	200 "		
1709	岡山	自然科学研究科	助教	萬代 大樹	200 "	1728	琉球	理学部	准教授	與儀 護	200 "		
1710	岡山	異分野基礎科学研究所	助教	岩崎 真之	200 "	1729	東京農工	工学研究院	准教授	中野 幸司	200 "		
1711	徳島	社会産業理工学研究部	講師	浅田 元子	200 "	1730	東京農工	工学研究院	助教	塚越 かおり	200 "		
1712	長崎	工学研究科	助教	堀内 新之介	200 "	1731	岐阜	工学部	助教	朝原 誠	200 "		
1713	熊本	先端科学研究部	助教	日隈 聡士	200 "	1732	岐阜	工学部	准教授	松岡 岳洋	200 "		
1714	群馬	理工学府	助教	石飛 宏和	200 "	1733	愛媛	理工学研究科	特任講師	石橋 千英	200 "		
1715	群馬	理工学府	助教	黒沢 綾	200 "	1734	北見工業	工学部	准教授	浪越 毅	200 "		
1716	福井	工学系部門	講師	鈴木 啓悟	200 "	1735	北見工業	工学部	助教	古瀬 裕章	200 "		
1717	静岡	総合科学技術研究科	助教	渡部 綾	200 "	1736	明治	理工学部	専任講師	石田 祥子	200 "		
1718	山梨	総合研究部 工学域	准教授	關谷 尚人	200 "	1737	同志社	理工学部	准教授	北岸 宏亮	200 "		
1719	山口	創成科学研究科	准教授	森田 実	200 "						26大学	37名	7,400 万円